

### 柱3-3 効率的な行財政運営

#### 柱3-3-(1) 施策・事業の見直し

##### 2年度目標の達成状況

目標	2年度実績	2年度目標の評価	3年度目標 (設定・変更等)
<p>2年度 PDCAの徹底に係る新たな仕組みの設計・構築</p> <p>3年度 抽出した施策・事業において新たな仕組みを運用している割合100%</p> <p>※4年度以降の目標は、3年度の進捗状況を踏まえて設定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな仕組みの設計・構築に向けた検討</li> </ul>	未達成	<p>PDCAの徹底に係る新たな仕組みの設計・構築</p> <p>(理由)</p> <p>費用対効果等を検証する新たな仕組みの設計・構築に向けた検討及び関係所属との協議を行ったが、新型コロナウイルス感染症対策により、各所属が施策・事業の見直しに取り組める状況ではなく、担当チーム内の検討でとどめることとなり未達成となったが、引き続きコロナウイルスの対応を踏まえながら、取り組んでいくため。</p>

##### 2年度取組の実施状況

2年度の取組内容	2年度の主な取組実績	課題	3年度の取組内容 (課題に対する対応)
<p>① 施策・事業の検証と見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見直しが必要な施策・事業を抽出し、費用対効果等を検証した上で、課題の解決に向けた見直しを進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用対効果等を検証する新たな仕組みの設計・構築に向けた検討及び関係所属との協議を行った。</li> <li>新型コロナウイルスの対応により、各所属が施策・事業の見直しに取り組める状況にないため、担当チーム内の検討でとどめることとなった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年2月に公表された「今後の財政収支概算(粗い試算)」では、通常収支不足が続くと見込まれており、引き続き選択と集中による見直しが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見直しが必要な施策・事業を抽出し、費用対効果等を検証した上で、課題の解決に向けた見直しを進める。(通年)</li> </ul>
<p>② 各所属長のマネジメントによる見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>予算編成時のシーリングの設定等により、各所属の選択と集中を促進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症対策への個別対応や新たな生活様式を行政サービスへ反映する必要があることを勘案しつつ、シーリングを設定し、各所属の選択と集中を促進した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、各所属はその対応に追われ、業務量が増加している。各所属の現状を考慮しながら、担当チーム内で検討を行い、取組を進める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予算編成時のシーリングの設定等により、各所属の選択と集中を促進する。(通年)</li> </ul>

### 柱 3-3- (1) 施策・事業の見直し

#### 3 年度目標の達成状況

目標	3 年度実績	3 年度目標の評価	4 年度以降目標 (設定・変更等)
<p>2 年度 P D C A<sup>37</sup>の徹底に係る新たな仕組みの設計・構築</p> <p>3 年度 P D C Aの徹底に係る新たな仕組みの設計・構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P D C Aの徹底に係る新たな仕組みの構築 (事業進捗管理)</li> <li>・ 施設のあり方検討において新公会計制度に基づくコスト情報を活用</li> <li>・ 財務諸表のデータ活用による事業評価の新たな仕組みの構築に向けた検討及び関係所属との調整</li> </ul>	達成	<p>4 年度 フルコスト比較による事業評価の仕組みの構築</p> <p>5 年度 構築した仕組みの運用 (理由)</p> <p>市政改革プラン 3.0 の中間見直しの結果、施策・事業の検証と見直しにあたって、フルコストの把握など多様な視点で点検・精査が行えるよう財務諸表のデータを活用することとしたため。</p>

#### 3 年度取組の実施状況

3 年度の取組内容	3 年度の主な取組実績	課題	4 年度の取組内容 (課題に対する対応)
<p>① 施策・事業の検証と見直し</p> <p>・ 見直しが必要な施策・事業を抽出し、費用対効果等を検証したうえで、課題の解決に向けた見直しを進める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運営方針に係る各所属の実態調査の結果を踏まえ、より効果的かつ効率的に P D C A サイクルを徹底するため、運営方針制度の運用に関する仕組みを再構築した。</li> <li>・ 施設のあり方検討において、新公会計制度に基づくコスト情報を活用した。</li> <li>・ 施策・事業の検証と見直しにあたって、フルコストの把握など多様な視点で点検・精査が行えるよう「新公会計制度」の財務諸表のデータ活用に向けた検討及び関係所属との調整を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 財政状況を以前に後戻りさせないことを念頭に引き続き取組を進めていく必要がある。</li> <li>・ 新型コロナウイルスの感染が続く中、各所属は保健所応援業務等で職員が不足しており、各所属の負担が増えないように考慮しながら取組を進める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各所属長マネジメントによる施策・事業の検証と見直しにあたって、フルコストの把握など多様な視点で点検・精査が行えるよう「新公会計制度」の財務諸表のデータ活用に向けた取組を進める。(通年)</li> </ul>
<p>② 各所属長のマネジメントによる見直し</p> <p>・ 予算編成時のシーリングの設定等により、各所属の選択と集中を促進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属長マネジメントのもと、P D C A サイクルを徹底し、更なる自律的改革に取り組むため、予算編成時に、シーリングを設定し、各所属の選択と集中を促進した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予算編成時のシーリングの設定等により、各所属の選択と集中を促進する。(通年)</li> </ul>

<sup>37</sup> 施策・事業に必要な要素である企画 (Plan)、運営 (Do)、評価 (Check)、改善 (Action) を一貫した流れのものとして捉え、それらを循環させることで、以降の施策・事業の改善に結びつける手法